

大塚製薬 国内全工場にCO2フリー電力を採用 ～ 年間CO2排出量半減へ ～

大塚ホールディングス株式会社(本社:東京都、代表取締役社長 兼 CEO:樋口達夫)の子会社である大塚製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:井上眞)は、2020年4月より、高崎工場、佐賀工場にてCO2を排出しない再生可能エネルギーに由来する「CO2フリー電力」を導入しました。これにより当社の国内工場すべてにCO2フリー電力が導入され、CO2年間排出量の約52%にあたる約44,000トン/年が削減される見込みです。

地球温暖化対策の国際的な枠組みであるパリ協定では、温室効果ガス排出量削減等に関する世界共通の長期目標が掲げられました。気候変動への対応が、グローバルで取り組むべき課題となるなか、CO2を含む温室効果ガスを排出しない「再生可能エネルギー」導入の動きが拡大しています。

大塚グループでは、環境への取り組みにおける重要項目(マテリアリティ)を「気候変動」「資源共生」「水資源」と特定し、「気候変動」においては、「2030年にCO2排出量30%削減^{*1}」を目標に掲げ、CO2排出量の低減に積極的に努めています。

2020年4月現在、大塚製薬に加え、大塚製薬工場、大鵬薬品工業、大塚化学、大塚食品でもCO2フリー電力を導入しています。今後もコージェネレーションシステム^{*2}の拡大や燃料転換などによるエネルギー利用の最適化を進め、グループ会社間の協働による相乗効果を発揮し、脱炭素社会の実現、ひいては持続可能な社会の実現への貢献を目指して取り組んでまいります。

*1 当社グループ2017年比。国内および国外のCO2排出量が対象

*2 天然ガス、重油、LPガス等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収するシステム。回収した廃熱は、蒸気や温水として、工場の熱源、冷暖房・給湯等に利用できる。熱と電気を無駄なく利用することで、高い総合エネルギー効率の実現を目指す。

会社概要

大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd.)

設 立	2008年7月8日
資 本 金	816億90百万円
代 表 者	代表取締役社長 兼 CEO 樋口 達夫(ひぐち たつお)
本社所在地	〒101-0048 東京都千代田区神田司町2丁目9番地
従 業 員 数	104名(2019年12月31日現在)
事 業 内 容	持株会社

大塚製薬株式会社 (Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.)

設 立	1964 年 8 月 10 日
資 本 金	200 億円
代 表 者	代表取締役社長 井上 眞(いのうえ まこと)
本社所在地	〒101-8535 東京都千代田区神田司町 2 丁目 9 番地
従 業 員 数	5,713 名(2019 年 12 月 31 日現在)
事 業 内 容	医薬品・臨床検査・医療機器・食料品・化粧品の製造、製造販売、販売、輸出並びに輸入